

校長先生、教頭先生、山下先生、田中先生、藤江先生、森先生が参加してくれました。お忙しい中、ありがとうございます。また学年等で聞いたことを伝えてください。よろしくお願いします。

言語活動とは？

言語活動とは、「聞く・話す・読む・書く」といった**言葉を使った活動**のことです。

国語の授業では、それぞれの学習内容に合わせて、**実際に言葉を使って考えたり伝えたりする場面**を設定することが求められています。

簡単に言うと、**「言葉を使って考えたり、伝えたり、ふりかえったりする活動」**のことです

「読むだけ」「書くだけ」ではなく、

「読んでどう思ったかを友だちに話す」

「自分の考えを文章にまとめて発表する」

「同じ本を読んだ人とその感想を交換する」

など、言葉を使う場面そのものが言語活動です。

なぜ、言語活動が大切なのか？

深く学ぶ力が育つ

→「話を聞く」だけでなく、「考えをまとめる」「人に伝える」

ことで、より深い理解につながる

読む力、書く力にもつながる

→対話や発表が増えれば読んだり、書いたりする場面も増える。

全ての教育活動につながる

→国語だけでなく、全教科の学びの土台になる。

言語活動の参考に
してください!!

国語の授業での言語活動の例

活動のタイプ	具体例
話す活動	読書感想を交流する/登場人物についての意見を言う
書く活動	読んだ内容をまとめて意見文を書く/感想をリーフレットにする
聞く活動	友だちの意見を聞いて考えを広げる/発表を聞いて質問をする
読む活動	目的に応じて文章を読み、必要な情報を取り出す/他の本と比べる

言語活動は特別な取り組みではなく、日々の授業の中に自然に組み込まれるものです。

小さな「話す」「書く」の工夫が、子どもたちの学びの質を大きく変えていくはずです。

少し意識して取り組んでもらえたらうれしいです!!よろしくお願いします!!

